

## 第9回 第2期中海自然再生協議会議事録

日時 平成22年10月16日(土) 13:00~15:00

場所 米子水鳥公園

「中海の自然再生シンポジウム」(NPO法人自然再生センター主催、平成22年度環境省中国四国地方環境事務所委託事業)が同日の午前に米子水鳥公園で開催されたのに引き続いて同所で開催することとなった。話題提供として環境省自然環境局委託による「地域生物多様性保全計画策定事業(中海自然再生)」(NPO法人自然再生センターが委託先で、協議会で策定しようとする実施計画案をプロモートするのがおもな目的)の紹介があり、その後、高安会長の司会のもとで、議事が行われた。

### 議事

- ・ 中海自然再生事業実施計画について

前回の協議会で実施計画案を提出する窓口はどこかの議論があったが、とりあえず環境省米子自然環境事務所を通してコンタクトを試みることとなり、正式な提出以前の段階で意見をきくこととなった。その結果、策定された中海の自然再生実施計画について、「担当の方からのコメント」(別紙1)が寄せられたので、この文書を参加者に配布し、読み上げることとした。今回の実施計画案については、環境省のもとに置かれている専門家会議にかけるにはまだ不十分と思われるとの指摘があり、主務官庁については内容で決まることだが、現時点では環境省を窓口として相談してもらってよいとのことであった。これを受けて、事務局を担当するNPO法人自然再生センターから「環境省の担当の方からのコメントを受けてー事務局の感想ー」の文書(別紙2)が配付され、前回の協議会で承認された実施計画は本格的な自然再生事業を作るための調査研究を行うことが主となるような内容であったので、法律に基づく実施計画にするためにはかなり修正が必要と思われるとの説明がなされ、個別実施計画のそれぞれの内容についての問題点が指摘され、いくつかの実施計画に統合して練り上げることが提案された。なお、提出する実施計画としてとりあげにくい課題については、協議会としてはすでに承認しているので、別の形での実施を目指すことでもよいのではないかとの説明がなされた。これらを受けて討議が行われ、このような方向で、次の協議会に向けて再検討を進めることが全体として了解された。

- ・ アドバイザー委員会の設置について

前回の協議会で実施計画を成功に導くためのアドバイザー会議が設置され、

専門家 5 名が提案・承認されたが、行政機関からの参加を求めてはどうかとの意見が出され、検討することとなった。その後、国土交通省出雲河川事務所、環境省米子自然環境事務所、および島根県・鳥取県から参加の意向が伝えられたことから、改めてこれらを含めた下記の委員が紹介され、承認された。

高安克己・国井秀伸・中尾 繁・倉田健吾・相崎守弘・国土交通省出雲河川事務所（西尾正博）・環境省米子環境事務所（甲斐 茂）・島根県・鳥取県

また、アドバイザー委員会運営方針（別紙 3）が提案され、字句修正の上で承認された。

## 報告

- ・ 次回協議会について、12 月 11 日（土）島根県庁会議棟で行う。
- ・ 中海・宍道湖ラムサール条約湿地登録 5 周年記念「中海・宍道湖を知る、学ぶ展（島根県・鳥取県連携事業）」が 9 月 29 日～10 月 9 日に成功裡に行なわれたことが島根県から報告された。（なお、この会議で上映された美しい中海湖底の映像（中国新聞社および新井委員による）が紹介された。）

（以上）